

## 「最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出額 21ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.9.23

・2020年7月の機械輸出額は3兆3,563億円、対前年同月比20.8%減と、21ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①4地域向けで前年同月比減少したこと、②21業種中20業種が前年同月比減少したことなどによる。為替・営業日要因が4.9%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は16.7%減となった。9月16日発表の貿易統計速報による簡易計算では、2020年8月の機械輸出は15.8%減であった。

・全商品貿易額・機械貿易額とも前年同月を下回っているものの5月を底に6～7月と減少幅を縮小させた。特に機械輸出全体の26%を占める北米向けでは、52%を占める自動車が前年同月比76.5%減(5月)→13.9%減(7月)と減少幅を大幅に縮小させた他、全体の28%を占める中国向けでは、約25%を占める産業機械(半導体製造装置等)が前年同月比7.4%増となるなど5か月ぶりに前年同月比で増加し、また、全体の12%を占める韓国・台湾向けでは、産業機械(主に半導体製造装置、前年同月比20.4%増)、電子デバイス(同5.2%増)とも増加となる等、これらの要因が機械輸出全体の減少幅の縮小に寄与した。

### I 要約

#### 1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:5兆3,692億円(前年同月比 [以下同じ] 19.2%減、20ヶ月連続対前年同月比減少)
- ② 全商品輸入額:5兆3,582億円(22.3%減、15ヶ月連続対前年同月比減少)
- ③ 貿易収支:109億円の黒字

#### 2. 機械貿易動向

##### (1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆3,563億円(20.8%減、21ヶ月連続対前年同月比減少)  
為替・営業日要因を除いた実質的な伸び率:16.7%減(6ヶ月連続対前年同月比減少)
- ② 機械輸入額:1兆8,240億円(16.8%減、10ヶ月連続対前年同月比減少)

##### (2) 為替・営業日動向

2020年7月に4.9%の減少要因、8月に4.9%の減少要因、9月に4.6%の増加要因。  
(9月の為替要因は9月18日の東京市場のレートにより、仮計算)

##### (3) 地域別動向

- ① 北米向け:19.3%減、12ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5)
- ② EU27向け:35.7%減、10ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:5.0%増、5ヶ月ぶり対前年同月比増加(図表4、5)
- ④ 韓国・台湾向け:4.1%増、4ヶ月連続対前年同月比増加(図表4、5、6、7)
- ⑤ ASEAN・南アジア向け:31.3%減、19ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑥ その他地域向け:46.3%減、6ヶ月連続対前年同月比減少(図表4、5、10)

##### (4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中鉄道車両のみが対前年同月比増加。

##### (5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 鉄道車両(タイ、カタル向け中心)、発電機(韓国・台湾、中国、ASEAN・南アジア向け中心)、半導体製造装置(韓国・台湾、中国向け中心)が対前年同月比二桁の伸び
- ② 船舶、貨物自動車、産業車両、航空機部品等が対前年同月比で大きく減少

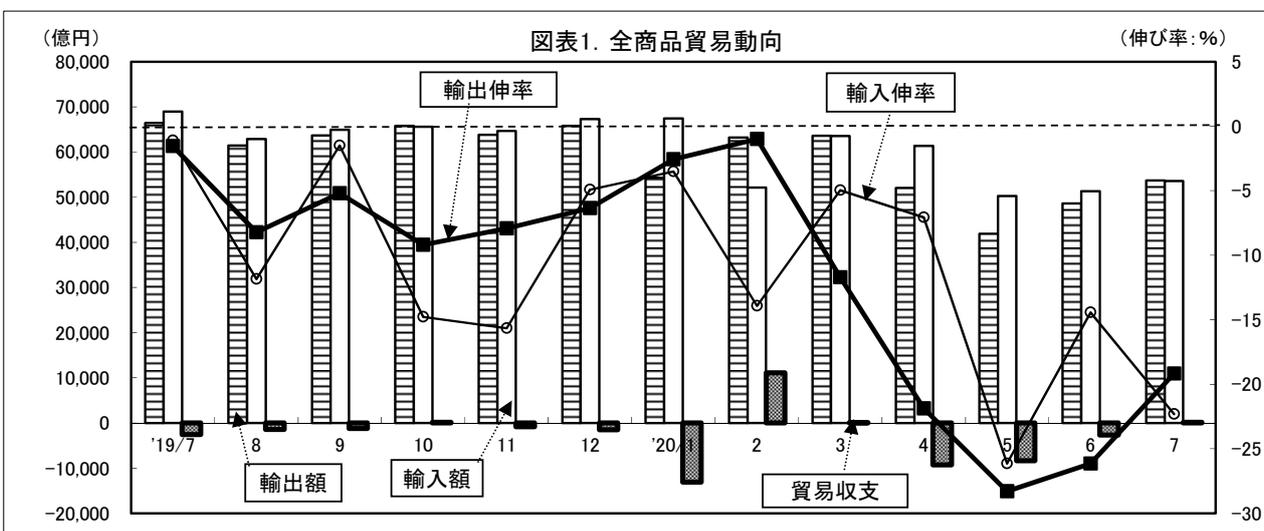
##### (6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、白物家電等4機種が対前年同月比で増加

## Ⅱ 個別動向

### 1. 全商品貿易動向～輸出は20ヶ月連続、輸入は15ヶ月連続で減少～

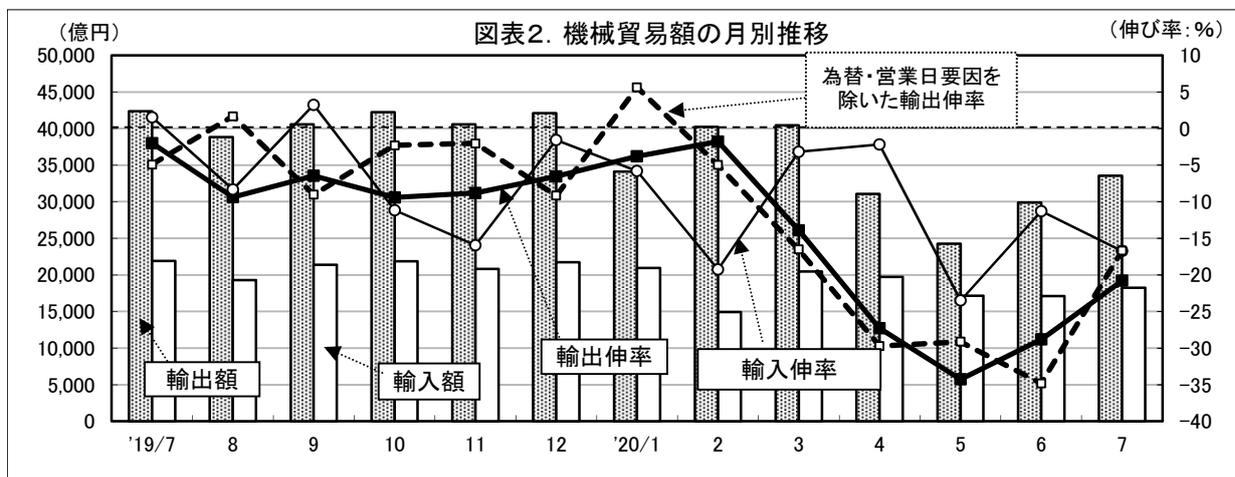
- 2020年7月の全商品輸出額は**5兆3,692億円**、前年同月比(以下同じ)**19.2%減**と20ヶ月連続で減少した(6月26.2%減)。これは、約20%を占める自動車等輸送用機器(32.9%減)をはじめ、約19%の一般機械(17.7%減)、電気機器(7.8%減)、約12%のプラスチック等化学製品(10.7%減)、約11%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(22.0%減)等が大きく減少したためである。
- 輸入額は**5兆3,582億円**、**22.3%減**と15ヶ月連続で減少した(6月14.4%減)。これは、全輸入額の約17%を占める電気機器(9.6%減)をはじめ、約14%の原粗油等鉱物性燃料(48.5%減)、約12%の医薬品等化学製品(8.6%減)や約11%の一般機械(13.7%減)、約10%を占める原料別製品(17.4%減)等が減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、4ヶ月ぶりに黒字(109億円、6月は2,693億円の赤字)となった。



### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～輸出は21ヶ月連続、輸入は10ヶ月連続で減少～

- 全商品輸出額の約63%を占める7月の機械輸出額は**3兆3,563億円**、**20.8%減**と21ヶ月連続で減少した(6月28.8%減)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率**は**16.7%減**であった。
- 一方、全商品輸入額の約34%を占める機械輸入額は、**1兆8,240億円**、**16.8%減**と10ヶ月連続で減少した(6月11.3%減)。

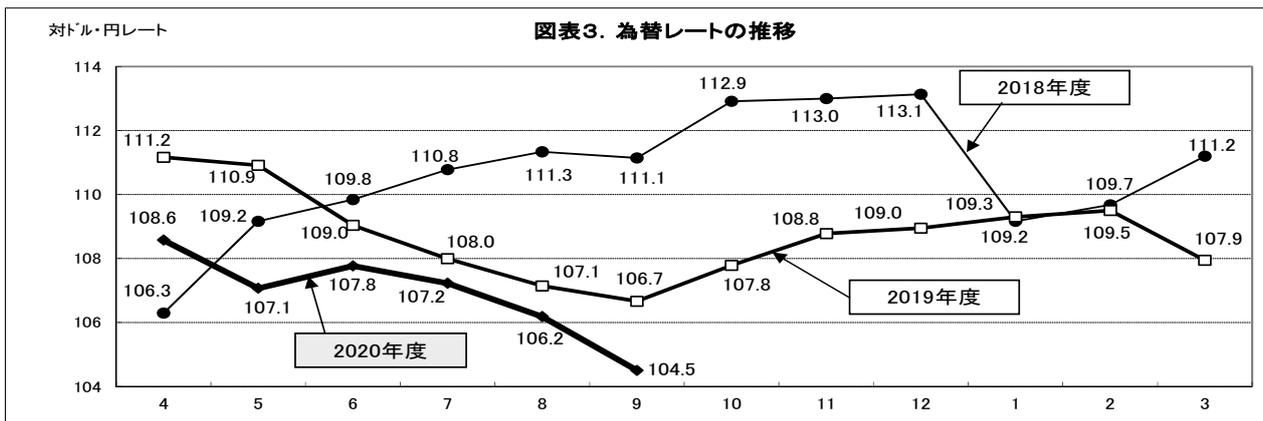


(2) 為替・営業日動向～7月は4.9%の減少要因、8月は4.9%の減少要因～

1) 2020年7月は1ドル=107.2円となり、前年に比べ0.7%の円高となった。また、対ユーロは120.9円と前年に対して0.7%の円高となり、合わせて約0.4%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合わせて約4.9%の減少要因となる。7月の輸出額は20.8%減であったことから、実質的伸び率は16.7%減と6ヶ月連続で前年同月比減少となった(6月34.8%減)。

2) 2020年8月は1ドル=106.2円で前年比0.9%の円高、対ユーロは124.2円で前年比3.9%の円安となり、合わせて約0.2%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.8%の減少要因となり、合計で約4.9%の減少要因となる。

3) 2020年9月は、対ドルが9月18日17:00時点の104.5円とすれば、前年比2.0%の円高、また、対ユーロは123.8円で5.1%の円安となり、合わせて約0.7%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.3%の増加要因となり、合計で約4.6%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～中国、韓国・台湾向けを除き、4地域向けで前年同月比減少～

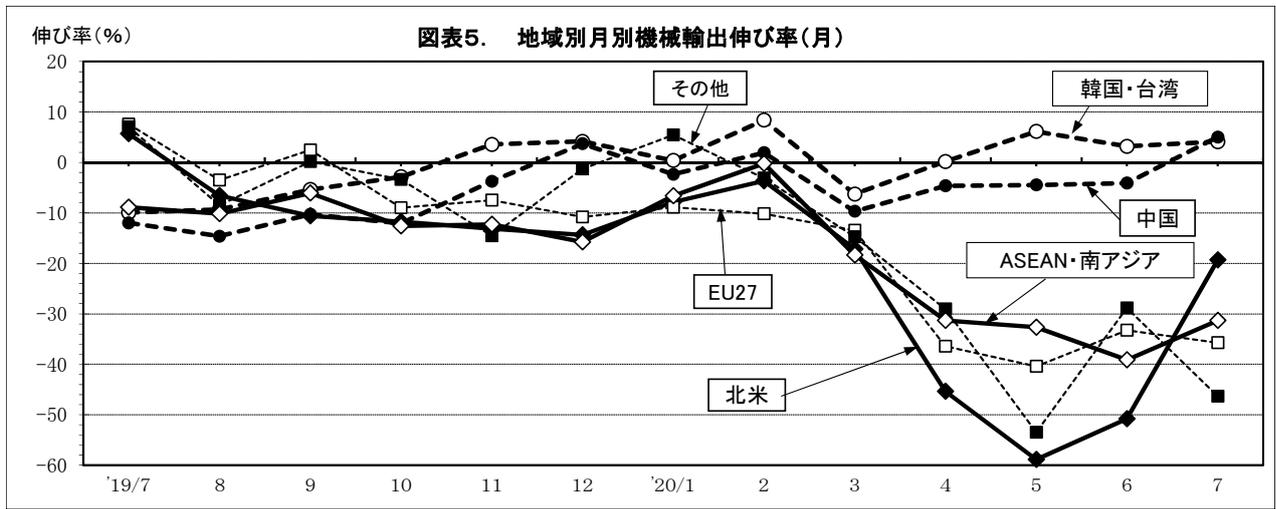
機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の26.3%を占める北米向けでは、52%を占める自動車(13.9%減)をはじめ、産業機械(19.3%減)、電池等軽電気機械(7.1%減)、航空機部品(32.5%減)等が減少し、19.3%減となった。②8.7%を占めるEU(英国を除く27ヶ国)向けは、33%を占める自動車(48.1%減)をはじめ、産業機械(22.9%減)、理化学用機器等軽機械(17.5%減)等が大きく減少して35.7%の減少となり、③28.1%を占める中国向けでは、15%を占める電子デバイス(3.1%減)等が減少したものの、24%を占める産業機械(7.4%増)、19%を占める自動車(13.6%増)、8%の配電機器等軽電気機械(4.7%増)等が増加して5.0%増となった。④11.9%を占める韓国・台湾向けは、自動車(13.7%減)が減少したものの、産業機械(20.4%増)、電子デバイス(5.2%増)等が増加して4.1%増となり、⑤12.5%のASEAN・南アジア向けは、ベトナム(0.7%増)向けは微増したものの、ベトナム以外のインドネシア(67.2%減)、タイ(31.9%減)、フィリピン(27.5%減)、インド(47.6%減)等の主要国はすべて二桁の減少となり、業種でも電子デバイス(5.6%増)が増加したものの、産業機械(30.3%減)をはじめ、自動車(64.9%減)、軽電気機械(23.0%減)、重電気機械(22.9%減)等が大きく減少して31.3%減となった。⑥11.3%のその他地域向けでは、中南米(60.1%減)、大洋州(26.6%減)、中近東(48.6%減)、ロシア東欧等(38.1%減)、アフリカ(51.7%減)向けがいずれも減少し、業種でも自動車(49.8%減)、産業機械(26.3%減)、船舶(72.3%減)等が大きく減少して46.3%の減少となった。⑦7月は6月に比べて中国が前年同月比で増加に転じただけでなく、米国向けの輸出において自動車が大きく回復したことにより、米国の前年同月比の減少率が大きく改善した。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

	2020/5			2020/6			2020/7		
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア
全世界計	24,252	▲ 34.3	100.0	29,887	▲ 28.8	100.0	33,563	▲ 20.8	100.0
北米	3,952	▲ 58.9	16.3	5,495	▲ 50.8	18.4	8,838	▲ 19.3	26.3
EU (英国を除くEU27)	2,346	▲ 40.4	9.7	2,888	▲ 33.2	9.7	2,923	▲ 35.7	8.7
英国	305	▲ 58.0	1.3	398	▲ 56.1	1.3	398	▲ 55.2	1.2
中国	7,915	▲ 4.5	32.6	8,930	▲ 4.1	29.9	9,435	5.0	28.1
韓国・台湾	3,582	6.1	14.8	4,027	3.2	13.5	3,984	4.1	11.9
ASEAN・南アジア	3,395	▲ 32.6	14.0	3,878	▲ 39.1	13.0	4,192	▲ 31.3	12.5
その他	2,756	▲ 53.5	11.4	4,271	▲ 28.8	14.3	3,793	▲ 46.3	11.3

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

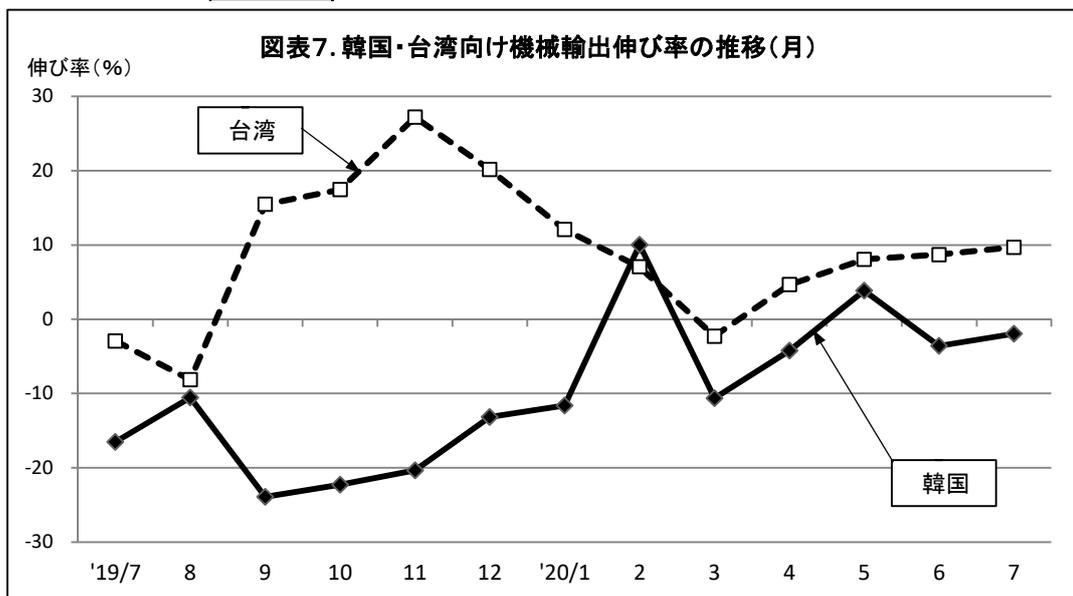


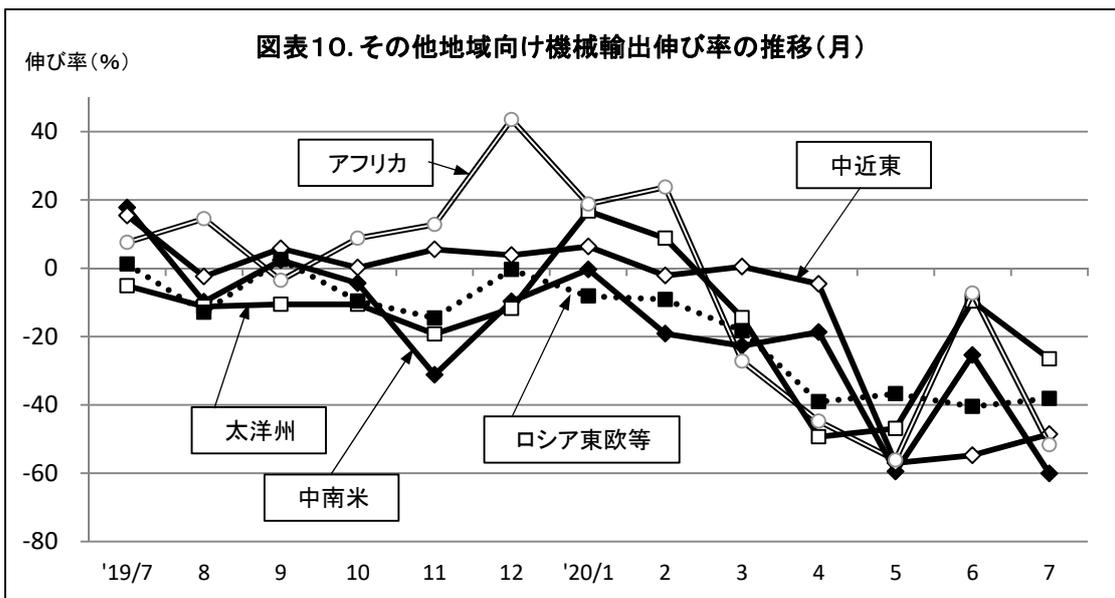
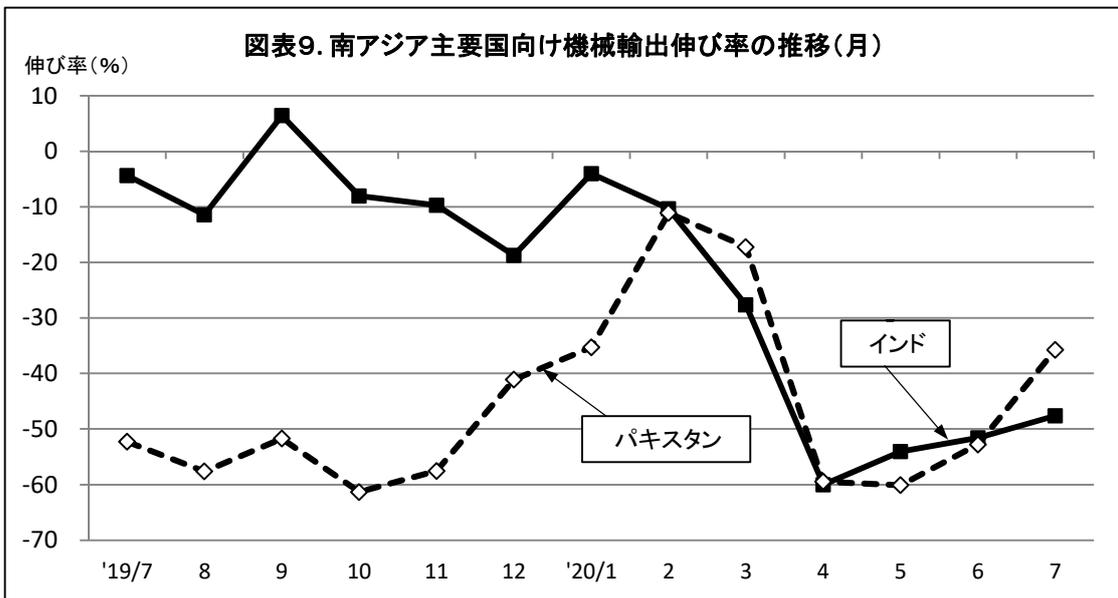
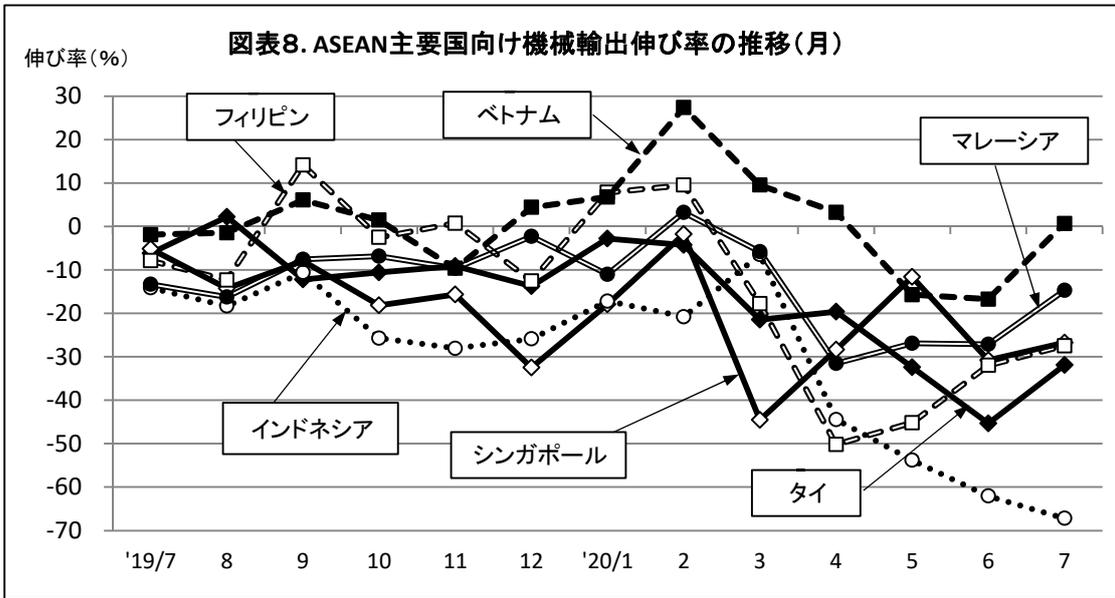
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2020/4		2020/5		2020/6		2020/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,893	▲ 4.2	1,604	3.8	1,690	▲ 3.6	1,801	▲ 1.9
台湾	2,035	4.7	1,978	8.1	2,337	8.7	2,183	9.7
<b>ASEAN・南アジア</b>								
タイ	1,275	▲ 19.6	950	▲ 32.4	892	▲ 45.4	1,062	▲ 31.9
シンガポール	755	▲ 28.4	647	▲ 11.6	751	▲ 30.8	613	▲ 26.7
インドネシア	511	▲ 44.4	230	▲ 53.8	325	▲ 62.1	276	▲ 67.2
マレーシア	488	▲ 31.5	418	▲ 26.9	460	▲ 27.1	551	▲ 14.7
フィリピン	316	▲ 50.2	300	▲ 45.2	426	▲ 32.0	462	▲ 27.5
ベトナム	731	3.3	551	▲ 15.7	620	▲ 16.7	784	0.7
インド	208	▲ 60.0	191	▲ 54.0	261	▲ 51.6	288	▲ 47.6
パキスタン	37	▲ 59.5	33	▲ 60.1	45	▲ 52.8	45	▲ 35.7
<b>その他地域</b>								
中南米	1,492	▲ 18.7	814	▲ 59.5	1,350	▲ 25.4	981	▲ 60.1
中近東	1,228	▲ 4.6	558	▲ 57.0	634	▲ 54.8	836	▲ 48.6
大洋州	662	▲ 49.3	539	▲ 46.9	1,022	▲ 9.6	956	▲ 26.6
ロシア東欧等	772	▲ 39.1	643	▲ 36.8	704	▲ 40.5	751	▲ 38.1
アフリカ	331	▲ 44.7	291	▲ 56.2	576	▲ 7.3	307	▲ 51.7

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





#### (4) 業種別動向～21業種中鉄道車両のみが増加、12業種が二桁の減少～

- 1) 業種別では、鉄道車両(1.9倍)のみが増加し、それ以外の20業種が減少した(6月も20業種が前年同月比減少)。機械全体でも20.8%の減少となった。
- 2) 前年同月比で二桁の減少となったのは、自動車(30.8%減)、軽機械(18.7%減)はじめ12業種となり、一桁の減少にとどまったのは、産業機械(8.4%減)、電子デバイス(0.8%減)はじめ8業種であった。

図表11 上位21業種の輸出額の動き (単位: 億円、%)

2020/5			2020/6			2020/7		
業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率	業種名	金額	伸び率
産業機械	5,815	▲ 9.0	自動車	7,325	▲ 50.3	自動車	10,603	▲ 30.8
自動車	5,006	▲ 61.3	産業機械	6,503	▲ 15.9	産業機械	6,657	▲ 8.4
電子デバイス	3,009	▲ 1.9	電子デバイス	3,006	▲ 7.9	電子デバイス	3,328	▲ 0.8
軽電気機械	1,713	▲ 18.0	船舶	2,021	49.3	軽電気機械	2,230	▲ 9.5
重電気機械	1,465	▲ 17.4	軽電気機械	1,852	▲ 21.7	重電気機械	1,963	▲ 5.5
軽機械	1,064	▲ 29.0	重電気機械	1,638	▲ 21.3	軽機械	1,387	▲ 18.7
民生用電子機械	1,018	▲ 14.5	軽機械	1,235	▲ 28.8	民生用電子機械	1,211	▲ 15.0
船舶	828	▲ 42.9	民生用電子機械	1,053	▲ 25.2	光学機械	1,024	▲ 6.7
光学機械	779	▲ 20.4	光学機械	961	▲ 13.8	建設機械	825	▲ 34.8
建設機械	645	▲ 44.4	建設機械	861	▲ 35.7	船舶	675	▲ 61.2
工作機械	424	▲ 39.5	工作機械	500	▲ 28.3	航空機部品	486	▲ 35.9
医療機械	405	▲ 0.6	医療機械	432	▲ 16.3	工作機械	477	▲ 31.7
航空機部品	300	▲ 55.4	航空機部品	417	▲ 42.4	医療機械	418	▲ 6.8
電子計算機	291	▲ 5.1	通信機械	356	▲ 24.9	通信機械	380	▲ 14.0
通信機械	274	▲ 32.2	電子計算機	305	▲ 19.6	電子計算機	335	▲ 8.2
ベアリング	245	▲ 36.4	陸用内燃機関	296	▲ 35.0	陸用内燃機関	309	▲ 23.9
陸用内燃機関	234	▲ 44.0	ベアリング	273	▲ 32.8	ベアリング	289	▲ 31.6
繊維機械	129	▲ 30.8	農業機械	159	▲ 26.5	農業機械	192	▲ 1.6
農業機械	84	▲ 54.9	繊維機械	139	▲ 29.3	鉄道車両	149	90.6
産業車両	71	▲ 34.2	産業車両	85	▲ 30.0	繊維機械	128	▲ 23.6
鉄道車両	38	▲ 52.2	鉄道車両	49	▲ 41.9	産業車両	74	▲ 37.3
21業種合計	23,839		21業種合計	29,465		21業種合計	33,143	

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械: 半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン  
 ・民生用電子機械: デジカメ、TV、部品 ・電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械: 試験・検査機、理化学用機器  
 ・軽電気機械: 白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械: その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品  
 ・通信機械: 通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

#### (5) 機種別動向～鉄道車両、発電機、半導体製造装置等が増加、船舶、貨物自動車等が大幅減少～

- 1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①ASEAN・南アジア(主としてタイ)、その他地域(主としてカタル)向け**鉄道車両**(1.9倍)、②韓国・台湾、中国、ASEAN・南アジア(主としてベトナム、タイ)向け**発電機**(47.1%増)、③韓国・台湾、中国向け**半導体製造装置**(15.1%増)の3機種であった。
- 2) 一方、最も落ち込み幅が大きいのが、船舶(61.2%減)、貨物自動車(46.8%減)、産業車両(37.3%減)、航空機部品(35.9%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2020/5			2020/6			2020/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
半導体製造装置	1,824	12.4	船舶	2,021	49.3	鉄道車両	149	90.6
機種合計	1,824	* 7.5%	磁気カード・ディスク等	118	10.5	発電機	100	47.1
			機種合計	2,139	* 7.2%	半導体製造装置	2,196	15.1
						機種合計	2,445	* 7.3%

は、2ヶ月連続で上位機種 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合  
 通信機械部分品: ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信機器: ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2020/5			2020/6			2020/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
乗用車	2,744	▲ 65.4	時計	49	▲ 54.7	船舶	675	▲ 61.2
航空機部品	300	▲ 55.4	自動車部品	2,173	▲ 51.0	貨物自動車	398	▲ 46.8
農業機械	84	▲ 54.9	乗用車	4,571	▲ 50.1	産業車両	74	▲ 37.3
貨物自動車	290	▲ 54.7	貨物自動車	371	▲ 48.2	航空機部品	486	▲ 35.9
自動車部品	1,809	▲ 54.5	デジカメ・ビデオ	121	▲ 45.5	建設機械	825	▲ 34.8
写真機の部分品・附属品	44	▲ 53.2	写真機の部分品・附属品	58	▲ 42.7	自動車部品	2,953	▲ 33.3
鉄道車両	38	▲ 52.2	航空機部品	417	▲ 42.4	工作機械	477	▲ 31.7
TV	43	▲ 50.4	鉄道車両	49	▲ 41.9	ペアリング	289	▲ 31.6
デジカメ・ビデオ	115	▲ 49.1	印刷・製本機械	446	▲ 39.7	印刷・製本機械	525	▲ 31.3
建設機械	645	▲ 44.4	伝動機	252	▲ 37.1	写真機の部分品・附属品	61	▲ 28.1
機種合計	6,112	* 25.2%	機種合計	8,507	* 28.5%	機種合計	6,763	* 20.2%

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 \* 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち電子計算機をはじめ4機種が前年同月比で増加～

- 1) 7月の機械輸入伸び率は16.8%減と10ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち電子計算機(8.8%増)、白物家電(1.4%増)をはじめ、4機種が前年同月に比べて増加し(6月も4機種が前年同月比で増加)、そのうち受信変換その他送受信機器(23.3%増)1機種が二桁の増加であった。減少したのは、電子デバイス(2.2%減)、携帯電話(13.8%減)、乗用車(30.6%減)等8機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、白物家電、受信変換その他送受信機器、医療機械、配電機器、TV、時計、通信機械部分品、デジカメ・ビデオの10機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の44%を占める中国(4.9%減)、ASEAN・南アジア(17.7%減)、韓国・台湾(8.9%減)、EU27(26.6%減)、北米(36.3%減)、その他地域(36.5%減)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2020/5				2020/6				2020/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	2,291	14.0	13.4	電子計算機	2,152	23.2	12.6	電子計算機	2,200	8.8	12.1
電子デバイス	2,060	▲ 2.8	12.0	電子デバイス	2,064	▲ 3.6	12.1	電子デバイス	2,035	▲ 2.2	11.2
携帯電話	977	▲ 7.3	5.7	白物家電	919	4.9	5.4	携帯電話	916	▲ 13.8	5.0
白物家電	790	▲ 16.2	4.6	携帯電話	745	▲ 15.8	4.4	白物家電	898	1.4	4.9
乗用車	708	▲ 48.5	4.1	受信変換その他送受信	717	33.1	4.2	受信変換その他送受信	819	23.3	4.5
航空機・部品等	680	▲ 64.0	4.0	自動車部品	604	▲ 42.1	3.5	乗用車	673	▲ 30.6	3.7
受信変換その他送受信	604	▲ 2.4	3.5	医療機械	576	▲ 13.8	3.4	自動車部品	656	▲ 46.0	3.6
自動車部品	581	▲ 49.8	3.4	航空機・部品等	566	▲ 57.3	3.3	医療機械	595	▲ 27.6	3.3
医療機械	578	▲ 23.2	3.4	配電機器	435	▲ 25.5	2.5	配電機器	513	▲ 22.8	2.8
配電機器	390	▲ 39.5	2.3	TV	370	23.1	2.2	航空機・部品等	465	▲ 67.9	2.5
その他の配電制御装置	332	▲ 20.8	1.9	コンデンサー等部分品	360	▲ 10.5	2.1	コンデンサー等部分品	424	▲ 3.5	2.3
コンデンサー等部分品	331	▲ 27.5	1.9	その他の配電制御装置	337	▲ 12.6	2.0	TV	377	5.4	2.1
12機種合計	10,322		60.2	12機種合計	9,845		57.5	12機種合計	10,571		58.0

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械  
 ・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等